

プキ

精華人 SEIKAJIN

2006

Kyoto Seika University
Alumni Association KINOKAI
SEIKAJIN

15

京都精華大学同窓会 木野会
京都市左京区岩田木野町137 〒606-8588
T.075-702-5201 F.075-702-5391

変わります!

会報誌「精華人」は毎年3月に発行しておりましたが、会計決算月の変更に伴い、本号より7月初旬に発行することになりました。



各支部
イベント情報
満載!

第19回木野会総会は、2006年5月28日に京都精華大学本館3階301会議室にて行われました。風薫る五月とはほど遠く、まるで梅雨のような不純な天候の日々が続いておりましたが、ようやく初夏を思わず日差しに恵まれた中での開催となりました。

議長には濱崎祐次評議員(99P)を選出。続いて25日に学長に就任されたばかりの島本浣先生から来賓としてのご挨拶をいただき、「大学としては同窓生にもっとアプローチしたい。要望や提案を待っている。そのためにも同窓会は支部の輪を広げてほしい」との趣旨のお言葉を述べられました。

議事に入り、第1号議案として入江完会長(68P)より2005年4月1日から2006年3月31日までの活動が報告された後、高橋恭弘常任理事(68P)からは昨年7月の祇園祭体験を始めとして3回に渡って開かれた留学生支援事業、柴田宣史常任理事(95L)からは昨年12月に催された「せいかだいすき・はなさんかい」(同窓生と在学生との交流会)の報告が相次いで行われ、また、各支部代表者からも支部の活動が順次報告されました。第2号議案は谷真美子副会長(69E)による2005年4月1日から2006年3月31日までの会計決算報告。続いて王前謙監事(68D)が第3号議案の会計監査報告をされました。再び入江会長より第4号議案の2006年4月1日から2007年3月31日までの活動計画が提案され、次に谷副会長より第5号議案の2006年4月1日から2007年3月31日までの予算提案があり、そして、入江完会長が第6号議案として2006年4月1日から2007年3月31日までの役員・評議員人事の提案をされました。

こうしてすべての議案の提案が終了し、会場からは質問として木野会ウェブサイトの進捗状況の報告要求、同窓生の連絡先等の個人情報に大学から円滑に提供されるための改善策の要望などの声がありましたが、いずれも原案に反対するものではなく、満場一致で可決されました。最後に入江会長が、大学、教育後援会、在学生とよりいっそうの協力・連携を深めて大学創立40周年記念に向けての活動を図りたいという趣旨の言葉を述べて締めくり閉会となりました。

総会終了後の懇親会には島本学長に加えて、就任されたばかりの片桐充(中尾ハジメ)理事長が出席されて挨拶をしてくださった後、学長の乾杯の音頭で開会しました。理事長と学長の参加という思いがけないサプライズで、今回の総会および懇親会に来られた方には有意義な一時をお持ちいただけたことでしょうか。宴は盛会のうちに無事お開きとなりました。

京都精華大学同窓会「木野会」
常任理事 宮城明和(77E)

総会後
学食内イベント
ホールでの懇親会



—大学創立40周年記念事業にむけた—
2006年度活動方針

(1) 学生・留学生・大学への支援

- ① 在学生と同窓会の交流会を継続開催
- ② 学生支援事業の継続
- ③ 留学生の交流支援—留学生同士、留学生と日本人学生

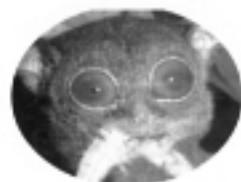
(2) 大学創立40周年（2008年）記念事業の推進

- ① プロジェクトチームの設置
- ② 基本方針の設定
- ③ 活動計画の立案
- ④ 予算の検討

(3) 木野会の改革と同窓生の組織化

- ① 支部設立の働きかけ
- ② 本部・支部の組織・活動を再検討
- ③ 学部・学科・専攻分野などの同窓会を積極支援





今年の東京五月祭は？

豪華賞品！

まぬけ熊大賞
M字開眼インリン大賞
1コマドラマ大賞
他多数

デジカメ、カメラ付き携帯で参加しよう。

上野動物園で撮影大会開催

2006年9月30日（土）ゆるゆる開催

予定

上野動物園正門前に集合（13：00）→動物園で撮影（15：00）
→合評（居酒屋の座敷）会場に移動（15：30～19：00）飲みながら品評会、のち各賞発表

2006年度の「東京五月祭」は上野動物園で撮影大会を予定しています。当日までにエントリーテーマを発表します。日頃の写メールの腕を発揮してベストショットを狙ってください。その後プリンターで印刷した作品を肴に酒を飲もうという企画です。

講師に坂井カメラマン（予定）を迎え初心者の方でも安心指導を行います。最近エコロジーブームでVIP待遇のまぬけな動物を撮りまくろう。

合評会場は上野界隈の旅館とかお好み焼き屋さんの座敷とか検索中。乞うご期待、皆さんお待ちしております。

〇〇友達ができまっせー



木野会からのお願い 木野会の皆様には東京事務局へのメールアドレスの登録をお願いします。イベント告知などは今後メールで行いたいと思います。メールのない方は電話の登録をお願いします。手紙だと通信費と手間が大変なのです。個人情報には遵守します。

問い合わせ 木野会東京事務局 山倉方 kenshi_96box@ybb.ne.jp
電話 03-3202-9696

会費：2,500円くらい、新卒の方と卒業して2年目までの初めて参加する人は1,500円くらいを目指しています。友達をさそってとんとん参加してください。

問い合わせ 木野会東京事務局 山倉方 kenshi_96box@ybb.ne.jp

東京五月祭とは？&参加の仕方

東京支部では卒業後関東地方にこられる方と関東在住の精華出身者の親睦を目的としたイベント「東京五月祭」というのを毎年やってます。お金のない新卒の人にもやさしい激安会費のわりに豪華かつゆるめの企画で毎回奮闘しております。なので新卒の方は特に来ていただきたいです。もちろん先輩方の参加もお願いします。世代を越えた交流に是非参加を、直接メールを送ります。

しが支部だより

第6回滋賀支部同窓会

五感で楽しむ”琵琶湖”

見る 聞く 触る 味わう 嗅ぐ 琵琶湖を体感できる一日です

7月23日(日)ウォーターステーション琵琶湖集合

JR石山駅よりバス20分
南郷洗堰そば

- ① 午前10時～12時 さかなとり 参加費 500円
子供無料 保護者同伴
たもあみなど用意します
- ② 午後 1時～ 2時 講演会 参加費 500円
びわこのさかなのおはなしです
身近にいるさかなをわかりやすく！
- ③ 午後 3時～ 5時 懇親会 参加費5000円
瀬田川屋形船でとれた魚の試食
船上板前にぎり寿司食べ放題

参加希望の方
滋賀支部 北井まで連絡ください
090-5966-9122

①～③まで通して参加の方はさかなとり 講演会は無料
※どれかひとつだけでも参加できます。

第3回イベント大阪

集合 2006年9月23日(祝土曜日)

JR 鶴橋駅出口 AM10:30

会場① コリアンタウン斑家食工房 (tel 06-6718-1100)

白菜キムチ作りの体験 約1.5時間

自作キムチ持ち帰り自由 (1kg)

視聴会 昼食 12:30~14:00 ブルコギなど韓国料理

会場② 韓国結婚式衣裳体験(着付け男女2名) 14:00~15:00

韓国民族衣裳着付体験と見学会 記念写真撮影など

会費 ¥3,000 (会員) キムチ作り込み

¥4,000 (非会員)

申し込み 名前、住所、TEL明記の上 fax or mail で

Tel&Fax 075-462-6484

Eメール maeda-saireiken@kyoto.zaq.ne.jp

(近畿支部事務局 前田好雄 70P)

締め切り 2006年8月末日まで



KINO KINKI

精華大近畿支部



鶴橋駅周辺にはこんなキムチ屋さんや、新鮮な魚、野菜を売るお店が
いっぱい並ぶ活気溢れる市場が
あります。食の買出しに行こう。



SEIKAパフォーマンス2006

今年のテーマはズバリ「讃岐うどん」

讃岐うどんの謎を説明かすのは貴方だ!!



イサム・ノグチ庭園美術館鑑賞

20世紀を代表する石の彫刻家イサム・ノグチは、モニュメント、庭や公園などの環境設計、家具や照明のインテリアから、舞台美術までの幅広い活動を行った、きわめてユニークな芸術家です。1956年、初めて滝吉石の産地である香川県の牟礼町を訪れたノグチは、1969年からは五穀山と屏風の間にあるこの地にアトリエと住居を構え、以降20年余りの間、石の作家である柳家正徳をパートナーに制作に励みました。イサム・ノグチ庭園美術館は、この地が未来の芸術家や研究者、そして広く芸術愛好家のためのインスピレーションの源泉になることを強く望んでいたノグチの遺志を実現したものです。150点あまりの彫刻作品はもとより、自ら選んで移築した展示室や住居イサム家、デザインした庭園など、全体がひとつの大きな「地味彫刻」、あるいは環境作品となっています。出来る限り、生前の雰囲気そのままで環境そのものを公開し、あわせて専門的な調査・研究のためのアーカイブを準備しています。ジャンルを超えた学際的でコスモポリタンな、開かれたノグチの世界像をどうか心ゆくまで味わっていただきたいと思ひます。

(イサム・ノグチ庭園美術館ホームページより抜粋)

参加者募集

ミステリーを説明かすのは10月中旬の土曜日の朝。
貴方は瀬戸内の海の見える小さな駅に降り立つ、
そこから感動のドラマは始まる。詳しくは西日本支部

木野Q始動 九州支部設立後、初のイベント。開催地決定!

2005年10月、木野会九州支部が設立してから約半年。運営の軸メンバーを中心に反省会や運営会議を重ね、とうとうやって来ました。本格的な支部活動の記念すべき第一弾となる2006年度支部イベント。その開催地が先日、決定致しました。

11月 in 鹿児島!

そうです!開催地は設立総会当初より要望の多かった「南九州」以前から、沢山のラブコールを頂いていました。設立総会が北であれば、イベント開催は南にて。今まで、遠方であった為に情報しか手に入らなかった皆さん、11月には南九州が木野Qの舞台です!詳細は現在未定ですが、時期と開催地は動きません。続報に乞うご期待。

●鹿児島・宮崎在住の精華人へ●

木野Qでは、イベント当日までの準備期間に、現地でのイベント準備に少しでも力を貸していただける方を本当に探しています。現在、鹿児島市内在住の花田佳江さん(77E・旧姓高村)からご協力を頂いていますが、まだまだ南九州からの力が必要です。現運営委員の中には現地詳しい人間が不足しています。ほんの些細な事でも、私達運営委員にとっては大きな力です!

興味を持たれた方は、下記の九州支部:事務局、または花田佳江さん(携帯090-7981-5684)への連絡をお願い致します。(九州支部運営委員一同)

今回は2006年3月発行の『精華人』にてご紹介できなかった、九州支部内にて今、一番熱く活動している地域「沖縄県」を全国の精華人にお届けします!

「沖縄県分会」には、その集まりを指す素敵な「あだ名」が付いています。その名も「琉精会～沖縄の精華んちゅ集まれ!～」ご覧の通り、これだけ活発な親睦会を毎月開催している沖縄県分会です。こんな沖縄に将来、木野会の新しい支部が立ち上がるというのなんと願っています。2005年10月の九州支部設立と共に、一気に始動した「琉精会～沖縄の精華んちゅ集まれ!～」その活動を担っている軸メンバー3人からの声です。

↓ビーチパーティーin奥武島



●イベントに関するお問合わせ・連絡●

[九州支部:事務局]

〒843-0233佐賀県武雄市東川登町大字永野6770-2
(小山路焼・小山路寮) 江口 康成 (88C)
TEL & FAX : 0954-23-7058

2006.5/13～14に開催された
ビーチパーティーの様子が見れます!
homepage.mac.com/regulus.aki/PhotoAlbum.html
沖縄県分会 [琉精会] 掲示板@ <http://6232/teacup.com/akio/bbs>

『琉精会～沖縄の精華んちゅ集まれ!!～』

2006年2月に初めて、顔も知らない精華卒業生の有志8人が集まったところから「沖縄県分会」またの名「琉精会～沖縄の精華んちゅ集まれ!～」がスタートしました。主な活動は月1回の親睦会。最初の頃は那覇市内の居酒屋での飲み会が中心でした。そして、5月には玉城村で染織家として活躍されている眞裏屋均さん(79D)のアトリエを開放してもらい奥武島にて一泊のビーチパーティーを開きました。6月は那覇久茂地の居酒屋での親睦会、夏には伊江島にてダイビングショップを営む湯野川恭子(75D)さんの元で伊江島キャンプ&サンセットクルージングを企画中。那覇に限らず、やんばるから宮古八重山各離島まで活動範囲を広げて行く予定です。将来的には日本各地の木野会の方々と交流会や現役精華生の沖縄旅行やフィールドワークの現地サポートなど出来たら...と考えています。「行き逢えば兄弟(いちやりばちゅーでー)」という「うちなー言葉」があります。「一度出逢ったら皆兄弟だから仲良く付き合おう」という沖縄の精神を表わす言葉です。同じ大学で学んだもの同士、沖縄に在住に限らずとも沖縄にお越しの際には是非連絡を!!観光ガイドには載っていない地元ならではの居酒屋や穴場スポットなどが紹介出来ます。遠く親睦会の時期に合えば熱い「うちなー飲み会」に参加出来るかも知れません。(笑) 小野あきお(97L)

私は精華を卒業して以来、大学に対してそんなに愛着をもっていなかったというのが正直なところ。30年振りに戻った沖縄に、精華の卒業生がこんなに生息していた。生粋のうちなんちゅ、移住して沖縄に住んでいる人、転勤でたまたま沖縄に住むことになった人などいろいろです。学部、年代もバラバラなのに、京都精華大学で過ごした数年間という共通点があるというだけで、こんなに違和感なく打ち解けてしまうのかと、ある種の感動を覚えたくらいです。それと、何か「精華人」には共通のにおいがあるんです。わかりますよね。沖縄という土地で「精華人」は自由にパワフルに生きているという気がします。この自由でパワフルというのが「琉精会～沖縄の精華んちゅ集まれ!～」のキーワードになるかも知れません。時にテュー(いかげん)というのも加わるかも知れませんが、そんな感じで沖縄支部設立ができれば願っています。
竹牟礼真澄(73E)

各地の名産品を持ち寄って↓



↓奥武島を後ろに



琉精会は、元々沖縄の人間と、卒業後に沖縄に移り住んだ人間の集合体。まさにチャンプルー文化を体現しています。今後は沖縄在住メンバーだけでなく、在校生、卒業生を問わず、沖縄に来られる方、沖縄好きの方、仕事や研究の一環として沖縄に関係のある方などとも、どんどん交流を深めていきたいと思っています。南の島々が連なる沖縄で「精華人」をキーワードにこれから何が生まれるのか、楽しみと期待がいっぱいです。
湯野川恭子(75D/旧姓中村)

↑アトリエにて授業



泡盛の店 琉夏
〒900-0014沖縄県那覇市松尾2-11-11
tel.098-862-6743 小野あきお(97L)
regulus.aki@mac.com
牧志公設市場にある泡盛専門店です。

九州支部事務局



木野会東海支部 2006年同窓会報告

ゴールデンウィーク明け、五月晴れの清々しい5月14日に東海支部2006年同窓会が開催されました。

昨年の同窓会は畑作業体験というところで「土」に親しむことがテーマでしたが、今回は卒業生の加賀さんが営まれる木工所にて「木」に親しむことを考え、くるみの木を使って時計を皆さんで作ってみました。

参加者は卒業生17名、同伴のご家族を合わせると20名を超える盛況振り、学校からデザイン丸谷先生の参加して下さい、午後1時、和気あいあいと作業が始まりました。

普段見られない木工所の様々な機械。最初は戸惑いも感じられましたが材料を渡されて参加者皆それぞれが独特のデザインを考え、初めて使う工具にビビりながら作業をするのもまた楽しそうでした。

作業行程としてはまず土台となる時計板をジグソーというのこぎりで切り、それを紙やすり等できれいに磨いて時間を示す印を付け、最後に時計のムーブと針を付けて完成です。とは簡単に言ってもなかなか難しい作業。苦戦に苦戦の連続です。

そんな大人達とは別に、お子様達は天気の良い外のお庭で木の車を製作しました。土台になる車の部品は加賀さんが用意してくださり、それを磨いて車輪を着けると完

成ー小さな木の切れ端をボンドでくっつけて、デコトラほりのかわいい車を作らせて競走が始まりました！

そのうち大人も時計が完成し、ゆっくり作っている方のお手伝いや子供達に混じって遊ぶ方、それぞれとても良い木の香りを感じながらゆったりとした時間を過ごせたようです。

参加者の皆さんが完成したのは午後4時過ぎ。思い思いに作った時計を評価しあったり、お茶をいたたきながら加賀さんの御自宅の居間で丸谷先生のお話を聞いたりとおまじりさせていたいた後に、下の集合写真を撮らせていただきました。

その後、近くの養老の滝公園の中に有るバーベキューのお店に移動して二次会を開催。なんとたけ精華時代を思い出すワイルドなお店でした。(屋外の広間で開催しましたが、雨は外にあるのですー)遠隔平野の美しい夜景を眺めながら、大理石の板の上で焼くバーベキューの味は格別。懐かしい大学の話に、子育てのお話に盛り上がったりとそれぞれ楽しい時間が過ごせました。

午後8時過ぎ、皆さんの再会を約束して解散。天気にも恵まれ、本当に楽しい1日でした。

来年度も又楽しい企画を考えて、皆さんとお会いしたいと願っています。



留学生 支援

2006年事業について お知らせとお願い！

昨年留学生達に好評であった「留学生支援事業」は、本年も行いますが、この事業のコンセプトを少し変更し、留学生と日本人学生の交流を深める意味を込めて、留学生を中心にしながら日本人学生の参加者も募集し拡大で行います。木野会の財政も考えながらローコストでハイリターンの結果が出るように、皆さんのキャリアとお知恵を拝借したいと考えていますので、いろんなアイデアをお持ちの会員の方は、是非留学生支援委員会のメンバーにご連絡ください。

先般も70Dの三宅さんから「日本の風の会」というボランティア団体に所属され「留学生が和風という日本文化に触れる機会をつくるのに協力しますよ」とアイデアも頂いています。皆さんのご協力よろしくお願ひします。

● 7月には「祇園祭体験」

05年夏始めて実施し大好評のイベントでしたので、本年も7月14日（金）辺りに昨年の実績を踏まえ、参加募集人員15名～20名程度、運営役員他5名程度で行いたいと考えています。



● 10月～11月「和菓子作り体験」

秋には昨年留学生からの要望で実施した和菓子作りの体験をしてもらいます。参加募集人員20名、運営役員他5名程度で行います。

● 1月「餅つき体験」

06年冬このイベントも留学生の要望で実施したイベントで、一日お餅をついて、お餅をまるめ、食べて、お土産まで持って帰れる、一日楽しい日本文化を体験する企画でした。参加募集人員80名程度、運営役員他15名程度で行います。

その他、「和風づくり、凧揚げ」も実施したいと考えますし、まだまだアイデアはあると思いますので、皆さんのアイデア・ご協力を宜しくお願ひします。



留学生支援委員会

常任理事 高橋恭弘
理事 小堀達夫
評議員 舟津 潤

連絡先：京都精華大学 木野会事務局